

事務事業名	点字図書館運営費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 50 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	身体障害者福祉法に基づき、視覚障がい者への情報提供を行うとともにボランティアの育成を行う。						
対象	1. 個人	市内在住, 在勤, 在学の視覚障がい者				約	790 人
根拠法令等	法律等	身体障害者福祉法					
事業実施内容	1. 視覚障がい者への図書の製作・貸出 (1)図書製作数 点字 19タイトル デイジー 51タイトル (2)図書利用数(ダウンロード含む) 点字 775タイトル カセットテープ 167タイトル デイジー 23,717タイトル 2. ボランティアの育成事業 ボランティア基本講習会・その他各種研修会については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。機関誌等による情報提供。 3. 文化レクリエーション等活動援助 教養講座参加者数(ボランティア含む) 15人 視覚障がい者IT講習会・パソコン教室等は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 4. 点字指導 視覚障がい者2人(郵送による指導)						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市点訳奉仕会, オフィスビジュアル21) (委託等内容 : 視覚障がい者指導事業, 点字図書校正業務) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 日本盲人社会福祉施設協議会ほか5団体) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 6,047 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	3,390 千円	点字・録音図書製作用図書購入, 機関誌点字版印刷
		使用料及び賃借料	1,744 千円	ノートパソコン賃借料, 電子複写機賃借料
		委託料	540 千円	視覚障がい者指導事業, 点字図書校正業務委託
		負担金補助及び交付金 その他	173 千円 200 千円	協議会会費, 湘南台駐車場料金負担金 旅費, 役務費
財源内訳	R2年度 支出済額 6,047 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	6,047 千円	
		県支出金 その他 () 一般財源		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	4.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	4.00人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	3.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	47,938	48,530	49,065	45,506			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	48,943	48,961	49,030	45,522			
	事業費(支出済額)	5,823	5,962	5,702	6,047			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	43,120	42,999	43,328	39,475			
	①常時勤務職員等の給与等	36,876	36,668	36,564	30,228			
	②会計年度任用職員の報酬等	4,453	4,454	4,453	7,083			
	③退職金相当額	1,791	1,877	2,311	2,164			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,005	-431	35	-16			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-1,005	-431	35	-16				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	112.14	427,501	113.04	429,317	113.30	433,060	104.58	435,121

成果実績	指標名	点字図書館登録者数	目標	270	単位 人	235	単位 人	245	単位 人	245	単位 人
			実績	230	単位 人	236	単位 人	233	単位 人	233	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			208,426.09	205,635.59	210,579.40	195,304.72					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	対象者数に対し登録者の割合が約30%と利用につなげていない対象者が多い。視覚障がい者本人や家族・友人等が点字図書館の存在を知らないことが大きな理由と捉えている。
(2) 課題解決のための今後の取組	広報ふじさわや図書館ホームページ・Twitter等で点字図書館(事業)の周知を図る。また4市民図書館と連携した事業を実施するなど図書館を通じた周知活動を積極的に実施し、点字図書館の認知の拡大に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者を対象とした教養講座やIT講習会等対面での事業は中止としたが、点字図書やデージー図書・カセットテープ図書の情報を随時発信し、読書環境の充実を図った。点字図書・デージー図書の製作はボランティアの協力により前年度と同程度完成することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	点字・録音図書の製作や貸出については、継続して実施する。点字指導やIT講習会等事業については、安全・安心な参加環境が提供できるよう新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら再開の準備を進める。またボランティアの技術向上等を目的とした研修会等についても実施方法を含め検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
53	点字図書及び録音図書の製作、収集及び整理に関すること	無	無	1	1
54	点字図書及び録音図書の貸出しサービスに関すること	無	無	1	
55	点字ボランティア及び録音ボランティアの育成指導並びに各奉仕会との連絡調整に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	総合市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	4市民図書館及び11市民図書室の維持管理・運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	1. 業務委託による清掃, 警備, 設備機器等の保守管理 2. 利用者駐車場及び機器等の賃貸借 3. 施設修繕, 消耗品の購入, 光熱水費等の執行による施設運営						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢建物環境管理協同組合, 総合警備保障, アベエクスプレス, 図書館流通センター) (委託等内容: 清掃・警備・設備機器の保守管理, 機械警備(4館分), 図書資料等の搬送, 図書資料装備)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 日本図書館協会, 神奈川県図書館協会)						
	<input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 105,719 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	77,830 千円	施設総合維持管理, 図書整理装備業務委託ほか
		需用費	18,872 千円	物品修繕, 施設修繕費, 電気代, 上下水道代ほか
		使用料及び賃借料	7,163 千円	土地賃借料, 機器賃借料ほか
		役務費 その他	1,355 千円 499 千円	電話料, 図書配送料ほか 報償費, 旅費, 負担金
財源内訳	R2年度 支出済額 105,719 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	208 千円	
		国庫支出金	1,509 千円	
		県支出金 その他 (繰入金・諸収入) 一般財源	 1,173 千円 102,829 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	9.15人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	9.15人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	140.80人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A	446,842	435,123	438,570	430,692
	(1)現金を伴う支出 (千円)	417,658	402,998	406,781	403,109
	事業費(支出済額)	149,477	135,495	134,811	105,719
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	268,181	267,503	271,970	297,390
	①常時勤務職員等の給与等	98,259	96,254	95,981	69,147
	②会計年度任用職員の報酬等	165,446	166,323	169,923	223,293
	③退職金相当額	4,476	4,926	6,066	4,951
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	29,184	32,125	31,789	27,583
	①減価償却費	31,697	31,697	31,697	31,697
	②退職給与引当金繰入額	-2,513	428	92	-4,114
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		1045.24	427,501	1013.52	429,317
				1012.72	433,060
					989.82
					435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		1. 図書館利用者へ快適な利用環境と、映画会やおはなし会、読書週間などの各種事業への参加機会を提供している。2. 図書館利用により、市民に充実した時間、知識情報、視野の拡大、豊かな生活等の満足感を与えている。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	4市民図書館及び11市民図書室の質の高い図書館運営とサービスの向上。 老朽化した総合市民図書館の緊急性の高い施設・設備修繕等の増加。
(2) 課題解決のための今後の取組	限られた予算の中で、優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	総合市民図書館の円滑な運営のため、施設の適切な維持管理に努め、安全で快適な利用環境と質の高い図書館サービスを提供した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き優先度の高い施設・設備の修繕等を実施することにより、安全・快適な利用環境を整備し、図書館サービスの拡大・向上に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
4	施設の運営管理に関すること	無	無	1	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2
8	図書業務員・臨時職員の任用及び業務管理に関すること	無	無	1	
10	施設の使用許可及び貸出し、管理に関すること	無	無	1	
11	施設使用料等公金の徴収及び管理に関すること	無	無	2	3
13	行政財産目的外使用料収納事務に関すること	無	無	1	1
48	図書館協議会委員の任用に関すること	無	無		3
49	図書館協議会の開催に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

Table with columns for '事務事業名', '部課名', '新部課名', '課等の長', '電話', '説明', '02', '001', '03', '06', '11', '01', '00', '01'. Content includes '南市民図書館等運営管理費', '生涯学習部総合市民図書館', '市川 雅之', '6755'.

1. 事業概要

Summary table with columns: '事業開始年度' (昭和62年度), '終了(予定)年度' (未定), '事業の性質' (任意自治事務). Rows include '事業概要', '対象' (1. 個人, 市民), '根拠法令等' (図書館法), '事業実施内容' (清掃, 機器等賃貸借), '事業実施手法' (直接実施, 委託・指定管理).

2. 歳出支出済額及び財源内訳

Table for '歳出' (Expenditure) with columns: 'R2年度支出済額', '費目', '支出済額 (千円)', '主な事業内容'. Total amount: 140,342千円.

Table for '財源内訳' (Source of Funds) with columns: 'R2年度支出済額', '費目', '支出済額 (千円)'. Total amount: 140,342千円.

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

Table for staff numbers with columns: '令和2年度', '常時勤務職員※', '短時間勤務職員(再任用・任期)', '合計'. Total: 0.95人工.

4. コスト分析

Cost analysis table with columns: '年度', '平成29年度', '平成30年度', '令和元年度', '令和2年度'. Rows include '行政費用', '(1)現金を伴う支出', '(2)現金を伴わない支出', and '市民1人あたりの負担額'.

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		図書館機能を維持・管理するための事業費であるため。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	図書館の運営業務をNPO法人に委託しており、情報共有に努めているが、職員が駐在していないため、緊急を要する不具合が発生した際の適切な判断及び迅速な対応が困難である。
(2) 課題解決のための今後の取組	連絡調整会議等において各館の施設状況の把握を行い、定期的に現場確認を行う中で、優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	南市民図書館の円滑な運営のため、施設の適切な維持管理に努め、安全で快適な利用環境を市民に提供した。施設の維持管理についてNPO法人との連絡を密にするよう努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	南市民図書館の適切な維持・管理のため、優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	辻堂市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	03	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	辻堂市民図書館の維持管理・運営を行う。				
対象	1. 個人	市民			435,121 人
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例			
事業実施内容	1. 業務委託による設備機器等の保守管理及び機器等賃貸借 2. 施設修繕, 消耗品の購入, 光熱水費等の執行による施設運営				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社) (委託等内容 : 視聴覚機器の保守点検) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 10,507 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	9,064 千円	消耗品購入, 施設修繕, 光熱水費
		使用料及び賃借料	603 千円	コピー機, 視聴覚機器, ビジネスホン賃貸料
		委託料	495 千円	視聴覚機器設備保守点検
役務費	345 千円	電話料, ゴミ収集手数料		
財源内訳	R2年度 支出済額 10,507 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	10,507 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.80人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.80人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
行政費用 A	32,801	31,674	30,375	34,075
(1)現金を伴う支出 (千円)	15,730	15,543	14,186	16,986
事業費(支出済額)	10,896	10,724	9,326	10,507
償還金利息	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	4,834	4,819	4,860	6,479
①常時勤務職員等の給与等	4,610	4,584	4,571	6,046
②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
③退職金相当額	224	235	289	433
(2)現金を伴わない支出 (千円)	17,071	16,131	16,189	17,089
①減価償却費	16,185	16,185	16,185	16,185
②退職給与引当金繰入額	886	-54	4	904
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	76.73 427,501	73.78 429,317	70.14 433,060	78.31 435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		図書館機能を維持・管理するための事業費であるため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	図書館の運営業務をNPO法人に委託しており、情報共有に努めているが、職員が駐在していないため、緊急を要する不具合が発生した際の適切な判断及び迅速な対応が困難である。
(2) 課題解決のための今後の取組	連絡調整会議等において各館の施設状況の把握を行い、定期的に現場確認を行う中で、優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	辻堂市民図書館の円滑な運営のため、施設の適切な維持管理に努め、安全で快適な利用環境を市民に提供した。施設の維持管理についてNPO法人との連絡を密にするよう努めた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	辻堂市民図書館の適切な維持・管理のため、優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南大庭市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	04	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南大庭市民図書館の維持管理・運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	1. 業務委託による設備機器等の保守管理及び機器等賃貸借 2. 施設修繕, 消耗品の購入, 光熱水費等の執行による施設運営						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : テクノ矢崎(株)) (委託等内容 : 冷温水発生機保守点検業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 8,643 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	7,057 千円	消耗品購入, 施設修繕, 光熱水費
		役務費	129 千円	電話料, ごみ処理費用
		委託料	416 千円	冷温水発生機保守点検
		使用料及び賃借料	1,041 千円	電子複写機, BDSシステム, 視聴覚機器等の機器賃借
財源内訳	R2年度 支出済額 8,643 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	8,643 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.80人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.80人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	32,321	30,364	30,666	31,810			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	15,988	14,634	14,878	15,122			
	事業費(支出済額)	9,637	8,872	9,639	8,643			
	償還金利息	1,517	943	379	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,834	4,819	4,860	6,479			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	4,584	4,571	6,046			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	224	235	289	433			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	16,333	15,730	15,788	16,688			
	①減価償却費	15,784	15,784	15,784	15,784			
	②退職給与引当金繰入額	549	-54	4	904			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	75.60	427,501	70.73	429,317	70.81	433,060	73.11	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		図書館機能を維持・管理するための事業費であるため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	図書館の運営業務をNPO法人に委託しており、情報共有に努めているが、職員が駐在していないため、緊急を要する不具合が発生した際の適切な判断及び迅速な対応が困難である。
(2) 課題解決のための今後の取組	連絡調整会議等において各館の施設状況の把握を行い、定期的に現場確認を行う中で、優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	湘南大庭市民図書館の円滑な運営のため、施設の適切な維持管理に努め、安全で快適な利用環境を市民に提供した。施設の維持管理についてNPO法人との連絡を密にするよう努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	湘南大庭市民図書館の適切な維持・管理のため、優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1
6	視聴覚機器の維持管理及び修繕	無	無	1	
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	図書館情報ネットワーク事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	05	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市図書館情報ネットワークシステムの維持管理及びインターネット予約等による利用者サービス向上と県内公立図書館, 市内4大学図書館との協力体制を推進する。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 図書館サービスを遂行するための図書館コンピュータシステムの保守管理及び貸借を行った。 2. インターネット検索・予約環境を整備した。 3. 図書館ホームページにより最新の情報提供を行った。 4. 利用者及び職員による情報収集を目的としたインターネット検索の環境を整備し、セキュリティの強化を行った。 5. 総合市民図書館の新聞・雑誌等のデータベース記事検索の環境を整備した。 6. 県内公立図書館, 市内4大学(慶応義塾大学, 日本大学, 湘南工科大学, 多摩大学)の図書館との協力体制を維持した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 36,497 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	1,210 千円	プリンタナーカートリッジ等消耗品費
		使用料及び賃借料	35,287 千円	コンピュータシステム機器賃借料
財源内訳	R2年度 支出済額 36,497 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	779 千円	
一般財源	35,718 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.00 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	1.00 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	36,768	36,546	45,725	44,591			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	37,019	36,654	45,716	44,595			
	事業費(支出済額)	27,352	27,018	35,997	36,497			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,667	9,636	9,719	8,098			
	①常時勤務職員等の給与等	9,219	9,167	9,141	7,557			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	448	469	578	541			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-251	-108	9	-4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-251	-108	9	-4			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	86.01	427,501	85.13	429,317	105.59	433,060	102.48	435,121

成果実績	指標名	インターネット予約件数	目標	480,000	単位	480,000	単位	480,000	単位	480,000	単位
			実績	462,738	単位	450,497	単位	462,465	単位	502,583	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		図書館情報システムの維持管理を行うことで、図書館資料の検索や予約などのサービスをインターネットを通じて利用できる環境を提供できた。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				79.46		81.12		98.87		88.72	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	図書館情報システムを導入している市民図書館4館に対し、市民図書室11室についてオンライン化ができていない。そのため、図書館利用者と図書室利用者の利便性やサービスに差が生じている。
(2) 課題解決のための今後の取組	図書館情報システム管理体制の維持及び市民図書室11室のオンライン化について引き続き検討を行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	図書館情報ネットワーク・コンピュータシステムにより、快適な利用環境と最新の情報を提供することで、市民サービスの向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	事業拡大
	図書館情報ネットワークシステムの適切な運営と維持管理により、多様化する利用形態に応え、利用者サービスの拡大・向上に努める。市民図書室11室のオンライン化については、システムの運用方法等についての課題を整理し、市民の利便性向上のために引き続き検討し、早期実現を目指す。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
9	図書館コンピュータシステムの維持管理に関すること	無	有	3	3
36	大学図書館との相互利用に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	総合市民図書館市民運営費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	06	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営業務をNPO法人に委託する。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法、藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に、図書館運営業務を委託することにより、南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の図書館サービス業務を実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : NPO法人 市民の図書館・ふじさわ) (委託等内容 : 図書館運営業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	243,707 千円	図書館運営業務委託
	243,707 千円			
財源内訳	R2年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
	243,707 千円	国庫支出金		
		県支出金		
	その他 ()			
	一般財源	243,707 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.80人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.80人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
コスト 支出	行政費用 A	146,297	148,610	149,507	249,579				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	146,548	148,718	149,498	250,186				
	事業費(支出済額)	136,881	139,082	139,779	243,707				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	9,667	9,636	9,719	6,479				
	①常時勤務職員等の給与等	9,219	9,167	9,141	6,046				
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
	③退職金相当額	448	469	578	433				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-251	-108	9	-607				
	①減価償却費	0	0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額	-251	-108	9	-607				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
	④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		342.21	427,501	346.15	429,317	345.23	433,060	573.59	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	NPO法人に運営業務を委託している南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館について、総合市民図書館からの連絡及び支援体制の強化。
(2) 課題解決のための今後の取組	NPO法人による南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営について引き続き検証しながら、施設管理、予算執行、サービス業務に対する支援等を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	南市民図書館、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営状況を検証した結果、適正に運営されている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	図書館サービス業務の一部をNPO法人に委託することにより、NPO法人の特色や地域特性を生かした事業展開と、利用者に充実した質の高い図書館サービスを提供し、効率的・効果的な図書館運営と図書館サービスの充実を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	総合市民図書館整備事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	07	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	総合市民図書館の安全で快適な施設環境を整え、施設の長寿命化を図るために改修工事を行う。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	総合市民図書館昇降機(エレベーター)改修工事を実施						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 24,475 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		工事請負費	24,475 千円	昇降機改修工事
財源内訳	R2年度 支出済額 24,475 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (地方債)	18,300 千円			
一般財源	6,175 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				32,984
	(1)現金を伴う支出 (千円)				31,174
	事業費(支出済額)				24,475
	償還金利息				1,840
	人件費合計(①+②+③)				4,859
	①常時勤務職員等の給与等				4,534
	②会計年度任用職員の報酬等				0
	③退職金相当額				325
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				1,810
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				1,810
	③不納欠損額				0
④その他 ()				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)					75.80 435,121

成果実績	指標名	-	目標							単位
			実績							単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設を維持・管理するための事業であるため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	同時期に設置した別の昇降機(エレベーター)の改修工事の実施
(2) 課題解決のための今後の取組	他の設備機器等も含めた改修工事の計画策定及び実施

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	改修工事を行うにあたっては、施設を閉館することなく利用者の安全も確保した中で、円滑に実施することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	老朽化する施設の状況を踏まえ、優先順位をつけた中で計画的に改修工事を行い、引き続き安全安心な利用環境を提供する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	総合市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	総合市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 19,110 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	17,909 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入
		備品購入費	1,201 千円	新聞のマイクロフィルム購入
財源内訳	R2年度 支出済額 19,110 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	6,898 千円	
一般財源	12,212 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	2.50 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	2.50 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	47,157	45,188	45,383	39,347			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	47,785	45,457	45,362	39,356			
	事業費(支出済額)	23,618	21,366	21,065	19,110			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	24,167	24,091	24,297	20,246			
	①常時勤務職員等の給与等	23,048	22,918	22,853	18,893			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,119	1,173	1,444	1,353			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-628	-269	21	-9			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-628	-269	21	-9			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	110.31	427,501	105.26	429,317	104.80	433,060	90.43	435,121

成果実績	指標名	総合市民図書館資料購入数	目標	12,200	単位 点	11,200	単位 点	10,800	単位 点	9,700	単位 点
			実績	12,196	単位 点	11,206	単位 点	10,871	単位 点	9,754	単位 点
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,866.60		4,032.48		4,174.68		4,033.93			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えることや、様々な資料がある中で、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) 課題解決のための今後の取組	リクエストや貸出状況から利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づき資料の収集・保存を行うとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	南市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	02	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	南市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 7,983 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	7,983 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入
財源内訳	R2年度 支出済額 7,983 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	3,593 千円	
一般財源	4,390 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	19,305	18,354	12,268	7,585			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,556	18,462	13,770	8,793			
	事業費(支出済額)	9,889	8,826	8,910	7,983			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,667	9,636	4,860	810			
	①常時勤務職員等の給与等	9,219	9,167	4,571	756			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	448	469	289	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-251	-108	-1,502	-1,208			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-251	-108	-1,502	-1,208			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	45.16	427,501	42.75	429,317	28.33	433,060	17.43	435,121

成果実績	指標名	南市民図書館資料購入数	目標	6,400	単位 点	5,800	単位 点	5,700	単位 点	5,200	単位 点
			実績	6,371	単位 点	5,844	単位 点	5,700	単位 点	5,126	単位 点
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,030.14		3,140.66		2,152.28		1,479.71			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えることや、様々な資料がある中で、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) 課題解決のための今後の取組	リクエストや貸出状況から利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づき資料の収集・保存を行うとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	辻堂市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	03	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	辻堂市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。				
対象	1. 個人	市民			435,121 人
根拠法令等	法律等	図書館法			
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 8,812 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	8,812 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入
財源内訳	R2年度 支出済額 8,812 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	3,814 千円	
一般財源	4,998 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	11,842	10,672	10,722	9,622			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	11,867	10,683	10,721	9,622			
	事業費(支出済額)	10,900	9,719	9,749	8,812			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	810			
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	756			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	47	58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	-11	1	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25	-11	1	0			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	27.70	427,501	24.86	429,317	24.76	433,060	22.11	435,121

成果実績	指標名	目標	6,400	単位 点	5,950	単位 点	5,750	単位 点	5,250	単位 点
			実績	6,642	単位 点	5,998	単位 点	5,812	単位 点	5,285
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,782.90		1,779.26		1,844.80		1,820.62		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えることや、様々な資料がある中で、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) 課題解決のための今後の取組	リクエストや貸出状況から利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づき資料の収集・保存を行うとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	------	-----	-----------

事務事業名	湘南大庭市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	04	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南大庭市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 8,719 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	8,719 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入
財源内訳	R2年度 支出済額 8,719 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	3,814 千円	
一般財源	4,905 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	8,751	10,642	10,700	9,529			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	11,810	10,653	10,699	9,529			
	事業費(支出済額)	10,843	9,689	9,727	8,719			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	810			
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	756			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	47	58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3,059	-11	1	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-3,059	-11	1	0			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	20.47	427,501	24.79	429,317	24.71	433,060	21.90	435,121

成果実績	指標名	湘南大庭市民図書館	目標	6,500	単位 点	5,950	単位 点	5,950	単位 点	5,400	単位 点
			実績	6,570	単位 点	5,976	単位 点	5,967	単位 点	5,435	単位 点
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,331.96		1,780.79		1,793.20		1,753.27			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えることや、様々な資料がある中で、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) 課題解決のための今後の取組	リクエストや貸出状況から利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づき資料の収集・保存を行うとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	市民図書室資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	05	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 55 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	11市民図書室の図書館活動に必要な図書資料等を購入する。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 9,651 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	9,651 千円	図書等の資料購入
財源内訳	R2年度 支出済額 9,651 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	5,528 千円	
一般財源	4,123 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.00人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	21,115	20,101	20,553	17,745			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	21,366	20,209	20,544	17,749			
	事業費(支出済額)	11,699	10,573	10,825	9,651			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,667	9,636	9,719	8,098			
	①常時勤務職員等の給与等	9,219	9,167	9,141	7,557			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	448	469	578	541			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-251	-108	9	-4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-251	-108	9	-4			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	49.39	427,501	46.82	429,317	47.46	433,060	40.78	435,121

成果実績	指標名	市民図書室資料購入数	目標	8,100	単位 点	5,300	単位 点	7,000	単位 点	6,300	単位 点
			実績	8,606	単位 点	5,335	単位 点	7,482	単位 点	6,722	単位 点
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			2,453.52	3,767.76	2,746.99	2,639.84					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えることや、様々な資料がある中で、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) 課題解決のための今後の取組	リクエストや貸出状況から利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づき資料の収集・保存を行うとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
45	市民図書室資料の収集、整理及び保存に関すること	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	視聴覚費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	003	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 56 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	図書館の視聴覚機材の貸出や鑑賞コーナー等の視聴覚機器の維持管理及び整備を行う。						
対象	1. 個人	市民				435,121	人
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	1. 視聴覚資料を鑑賞するための視聴覚機器の貸借及び保守点検を行った。 2. 貸出用の視聴覚機材の整備, 修繕等を行った。 3. 16ミリ映写機操作技術認定講習会を開催した。(参加者数延べ32人) 4. 視聴覚資料を購入した。 5. 映画会等を開催した。(18回)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 東通産業株式会社 神奈川支店) (委託等内容 : 視聴覚システム保守点検整備業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 1,975 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	965 千円	貸出用CD・DVD, 16ミリ映写機等修繕費
		使用料及び賃借料	710 千円	視聴覚設備機器賃借料
		委託料	270 千円	視聴覚システム保守点検業務
		報償費	30 千円	16ミリ映写機操作技術講習会等謝礼
財源内訳	R2年度 支出済額 1,975 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	1,975 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	7,317	6,721	6,968	7,134			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,443	6,775	6,964	6,834			
	事業費(支出済額)	2,609	1,956	2,104	1,975			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,834	4,819	4,860	4,859			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	4,584	4,571	4,534			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	224	235	289	325			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-126	-54	4	300			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-126	-54	4	300			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	17.12	427,501	15.66	429,317	16.09	433,060	16.40

成果実績	指標名	16ミリ映画等映画会開催回数	目標	109	単位	84	単位	66	単位	18	単位
			実績	109	単位	84	単位	66	単位	18	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		映画会等を行うことにより、図書館サービスが充実し、市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		67,128.44		80,011.90		105,575.76		396,333.33			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	既存の資料・機材・設備の老朽化。 限られた予算の中での利用者の要望に基づく資料購入が困難であること。
(2) 課題解決のための今後の取組	資料・機材等の保守点検及び修繕を実施する。 利用者のニーズに合った資料購入とともに、将来の利用を見据えて体系的な資料収集を行う。 既存資料の有効活用を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	視聴覚資料鑑賞コーナーの適正な維持管理・運営や、16ミリ映画会等の開催により、図書館サービスが充実し、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	社会情勢の変化に合わせた、視聴覚機材の維持管理及び整備とともに、的確な利用者のニーズの把握に努めながら、視聴覚機材の貸出や視聴覚資料の鑑賞を通じて、図書館サービスの充実を図る。 視聴覚資料の提供については、様々な媒体、形態での提供が可能であるかどうか研究し、利用者へ有効な資料の提供に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
6	視聴覚機器の維持管理及び修繕に関すること	無	無	1	
10	施設の使用許可及び貸出、管理に関すること	無	無	1	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	
27	図書館資料の整理及び保存に関すること(録音資料)	無	無	1	
28	図書館資料の整理及び保存に関すること(映像資料)	無	無	1	
30	視聴覚機材の貸出及び管理に関すること	無	無	1	
31	視聴覚資料の収集、寄贈、整理及び保存に関すること	無	無	1	
32	視聴覚資料の貸出及び管理に関すること	無	無	1	
35	映画会の開催に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	障がい者・高齢者宅配サービス事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	004	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	図書館に来館することが困難な障がい者や高齢者に対し、市民ボランティアの協力により、各家庭へ図書館資料を宅配する。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	令和2年度実績:宅配サービス利用者数 106人, 活動ボランティア数 90人, 延べ利用者数 2,016人, 貸出資料数 8,231点						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 337 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	247 千円	消耗品・大活字本の購入
		報償費	90 千円	宅配協力者への謝礼
財源内訳	R2年度 支出済額 337 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	337 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	0.50 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	5,350	5,323	5,220	4,386			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,476	5,377	5,216	4,387			
	事業費(支出済額)	642	558	356	337			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,834	4,819	4,860	4,050			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	4,584	4,571	3,779			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	224	235	289	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-126	-54	4	-1			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-126	-54	4	-1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	12.51	427,501	12.40	429,317	12.05	433,060	10.08	435,121

成果実績	指標名	宅配サービス利用者数	目標	95	単位	95	単位	95	単位	95	単位
			実績	96	単位	108	単位	103	単位	106	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		55,729.17		49,287.04		50,679.61		41,377.36			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	宅配ボランティア登録者の地域的な偏り
(2) 課題解決のための今後の取組	広報ふじさわ・HPでの周知を引き続き行う。また市内の団体・施設等に対してポスター掲示やチラシ配布を依頼するなど、積極的にPRを行い、市内全域で利用者・ボランティアの登録が増えるよう努める。今後も団体・施設等に協力を依頼し、宅配サービスの利用を促進する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者の図書館利用が可能となり、市民サービスの更なる向上が図られている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者に対し、自宅に居ながらにして図書館利用することができるよう、市民ボランティアの協力による図書館資料の宅配サービスを引き続き行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
22	宅配サービスに関すること	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	子ども読書活動推進事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	005	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが本に出会い、楽しみ、親しめる機会を提供し、豊かな環境の整備を進め、子ども読書活動の推進を図る。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	子どもの読書活動の推進に関する法律					
事業実施内容	1. 幼児と保護者を対象としたブックスタート事業を、1歳6か月児健診時に合わせて実施した。(配付人数3,338人 新型コロナウイルス対策のため活動ボランティアの参加なし) 2. 子どもや保護者が集う施設へブックリストの配布及び資料の提供を行った。(配本施設14か所) 3. 乳幼児とその保護者を対象とした推薦絵本等のリーフレットを作成し、保健事業時等に配付した。 4. 図書館・図書室おはなし会ボランティア、ブックスタートボランティアなど、子どもの読書活動推進に関わるボランティアのための交流会や、オンライン形式の研修会を開催した。(交流会開催回数2回 研修会開催回数2回) 5. 子どもの読書活動推進のための市民向け啓発講座等をオンライン形式等で開催した。(開催回数2回) 6. 藤沢市子ども読書活動推進計画の改定に係る策定委員会を5回開催した。また、市民を対象に「藤沢市子ども読書活動推進計画(素案)」についてパブリックコメントを実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)名豊) (委託等内容 : 藤沢市子ども読書活動推進計画改定支援作業) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 5,279 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	272 千円	藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会委員報酬
		報償費	100 千円	講座等謝礼
財源内訳	R2年度 支出済額 5,279 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	300 千円	
		一般財源	4,979 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	18,372	14,745	15,450	14,183			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	17,687	15,488	15,440	14,187			
	事業費(支出済額)	5,120	4,888	4,750	5,279			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	12,567	10,600	10,690	8,908			
	①常時勤務職員等の給与等	11,985	10,084	10,055	8,313			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	582	516	635	595			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	685	-743	10	-4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	685	-743	10	-4				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	42.98	427,501	34.35	429,317	35.68	433,060	32.60	435,121

成果実績	指標名	ブックスタート事業実施回数	目標	48	単位	48	単位	48	単位	48	単位	
			実績	48	単位	48	単位	48	単位	48	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		1. 絵本を介した幸せな子育ての実現 2. 生涯にわたる読書習慣の獲得(読書は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」-子どもの読書活動の推進に関する法律第2条)3. 行政・市民・地域の子育て支援のメッセージを、全ての保護者に伝えることが可能									
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		382,750.00	307,187.50	321,875.00	295,479.17						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	各種ボランティア交流会及び研修会等における感染症対策。 学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の周知方法等についての検討。 「ふじさわ子ども読書プラン2025第4次藤沢市子ども読書活動推進計画」の推進と年度毎の適切な進捗管理。
(2) 課題解決のための今後の取組	各種ボランティア交流会及び研修会の実施方法を検討し充実に努める。 関係各課との連携によるブックスタート事業及びフォローアップ事業を実施する。 藤沢市子ども読書活動推進会議を開催し、事業の進捗管理に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	「第4次藤沢市子ども読書活動推進計画」を策定した。 藤沢市子ども読書活動推進計画に基づき、ブックスタート事業、各種保健事業時等における啓発リーフレットの配付、学校図書館及び地域の子どもに関わる施設との連携事業の実施、対象年齢に応じたブックリストの配布、地域の子どもに関わる施設への配本等、子どもの読書活動の推進に関する事業を実施した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	藤沢市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの豊かな心と健やかな成長を育むため、子ども及び子どもの読書活動推進に関わる人を対象に子どもが本に会い、楽しみ、親しめる機会を提供し、地域の子どもに関わる施設へのリサイクル図書の提供など、読書環境の整備を推進する。 ブックスタート事業については、他の自治体におけるふるさと納税などの活用等、財源確保の事例について調査した内容を踏まえて、財源の有効活用を図る手法を検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
41	子ども読書活動の推進に関すること(藤沢市ブックスタート)	無	無	1	
42	子ども読書活動の推進に関すること(藤沢市子ども読書活動推進計画)	無	無		2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------